



記念植樹を行う堤村長ら



植樹されたヨコハマヒザクラ

横浜市との友好交流5年目を記念し植樹

昭和村と横浜市の友好交流協定締結5年目を記念した植樹式が10月1日、「第20回昭和の秋まつり」会場内で行われま

した。

当日は、堤村長や横浜市の渡辺^{かつのり}巧教副市長ら関係者12人が出席。横浜市ゆかりの桜「ヨコハマヒザクラ」2本を植樹し、交流の節目を祝いました。

横浜市とは、1972年に現在の「横浜少年自然の家赤城林間学園」が開設されて以来、長きにわたり交流を続けています。

また、2013年に横浜市との友好交流協定を締結し、今年で5年目を迎えました。(第20回昭和の秋まつり) 関連は11月号でご紹介します)

加藤琉也君が和牛審査競技で日本一

利根実業高2年の加藤琉也君(森下中)が、10月6日に役場を訪れ、去る9月7日に仙台市で開かれた第11回全国和牛能力共進会の和牛審査競技会における高校生の中で群馬県代表として出場、最優秀賞を受賞し見事「日本一」に輝いたことを堤村長に報告しました。

この競技会には全国から41人の高校生が出場。雌牛4頭を審査し、和牛の優劣を判断する正確性を競いました。

加藤君は、持ち前の目利きのセンスに加え、夏休みには和牛農家へ出向いて技を磨き、同校赤城農場でも実践練習を積



村長へ結果を報告

むなど地道に努力を重ねてきました。加藤君は「競技会で優勝してから1か月がたち、心は落ち着きを取り戻しています。今はこんなにやくや野菜について学んでいますが、和牛審査競技は今後もあるので出場したいです」と心境を語りました。



競技会で日本一に輝いた加藤琉也君

福祉パレード隊が

役場を訪問

第45回福祉パレードが9月5日、県内各地で実施されました。このパレードは9月が知的障害者福祉月間であることから、知的障害者の教育推進や福祉の向上を図ることを目的に毎年実施されています。

当日は、昭和中学校3年生の倉澤寿匡君ら3名を含むパレード隊が役場を訪問。倉澤君は、「今年の夏の大会を最後に部活を引退しました。卒業後は、3人とも特別支援学校進学を希望しています。将来は、この温かい地元に戻って生活したいと思っています」とメッセージを読み上げました。



メッセージを読む倉澤君ら

川額・森下で恒例の豊年まつり

川額・森下地区で毎年恒例となっている、一年の五穀豊じょうを祈願する「豊年まつり」が両地区で行われました。

川額地区では9月28日と29日に川額八幡宮で開催されました。午後9時には、祭りは最高潮に達し、八木節が披露される中、川額上(藤井・宮貝戸)と川額下(根岸・伏田)の中学生による2基のまんどろが堂々と入場。七回めぐりが始まると、やがて境内をまわりながら激しくつつかけ(ぶつけ)あいました。



迫力ある七回めぐりを披露(森下地区)

また、森下地区では9月30日と10月1日の2日間、森下大森神社で開催されました。

こちらも2日目の午後9時過ぎになると、青年団らによる伝統の八木節が行われ、森下上・中・下の3基のまんどろが威勢よく入場。境内に詰めかけた大勢の見物客が見守る中、迫力ある七回めぐりを披露しました。まんどろが勢いよくつつかけあう度に見物客から歓声が上がっていました。



威勢良くつつかけるまんどろ(川額地区)



祭りを盛り上げた八木節(森下地区)



堂々と存在感を放つまんどろ(川額地区)

長寿祝い

敬老祝金を配付

村では、村内の80歳以上のお年寄り788人の長寿を祝い、地域の民生委員を通じて敬老祝金を贈りました。

また、95歳以上のお年寄り45人には9月13日、堤村長、小林副村長がそれぞれ自宅などを訪問。直接、敬老祝金を手渡しました。

今年で95歳を迎えられた貝瀬ウメさん(吹張)は、堤村長から「これからもお元気でいてください」と敬老祝いが手渡されると、「どうもありがとうございます」と元氣な声で応えています。



95歳を迎えられた貝瀬ウメさん(吹張)